

大学院共通カリキュラム

研究科の枠を越えた柔軟かつ学際的なカリキュラムを設計するため、各研究科を横断して「研究科間共通科目」が設置されています。本カリキュラムでは担当教員として、当該科目のスペシャリストである特任教員やゲスト講師を多数任用し、講座内容の充実を図っています。

カリキュラム一覧

授業科目〈国際系科目群〉	単位数
学術英語コミュニケーション	2
英文学術論文研究方法論	2
国際系総合研究A	2
国際系総合研究B	2
国際系総合研究C	2
国際系総合研究D	2

授業科目〈学際系科目群〉	単位数
学際系総合研究A	2
学際系総合研究B	2
学際系総合研究C	2
学際系総合研究D	2

授業科目〈キャリアパス関連科目群〉	単位数
ジョブ型研究インターンシップ	2
キャリアパス支援科目「産学連携型キャリア支援講座」	2

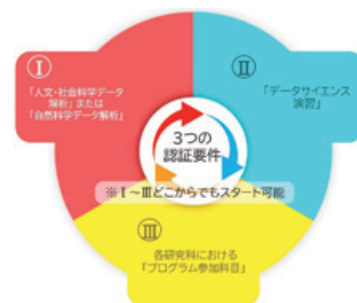


研究科間共通科目Webページ(科目紹介・シラバス等)
https://www.meiji.ac.jp/dai_in/crossing/common.html

授業科目〈数理データサイエンス人工知能科目群〉	単位数
人文・社会科学データ解析	2
自然科学データ解析	2
データサイエンス演習	2

授業一例(数理データサイエンス人工知能プログラム)

近年、データサイエンスや人工知能(AI)は、研究分野を問わず幅広く活用される重要なツールとなっています。大学院生にとってこれら学ぶことは、研究データの収集・解析・解釈を効率的かつ正確に行う力を高め、より深い洞察を得るだけでなく、将来のキャリア形成にも直結します。さらに、データサイエンスやAIの知識は学際的な研究協力を促進し、新しい視点やアプローチの導入を可能にします。こうしたスキルは大学や研究機関に限らず、ビジネスや行政など多様な分野で求められており、文系・理系を問わず習得が不可欠です。当プログラムでは、研究科を超えてデータサイエンスやAIのリテラシー並びに基本的な知識や技術を習得することができます。また、所定の科目を3科目以上修得することでプログラム認証を受けることができます。



データサイエンスコンペティション

2025年度から学びを実践へと結びつける場として「データサイエンスコンペティション」を開催しています。本コンペは、文理を越えて集う大学院生・学部生がチームや個人で挑戦し、データサイエンスの力を活用して社会課題に向き合う場です。テーマは「地球規模環境変化の中でよりよい生活を目指すための提案」。オープンデータを駆使し、自らの専門性を社会の未来へどう発展させられるかを考え、具体的なアイデアとして発表します。教員や実務家から直接フィードバックを受けられる機会は、研究の深化や新たな視点の獲得に大きな刺激となるでしょう。また、研究科や学部の枠を超えた交流は、人脈形成や共同研究への第一歩となります。知識を知恵に、学びを力に変える経験を通じて、自分の可能性を大きく広げてみませんか。



担当教員



藤川 真由 Ph.D.
FUJIKAWA Maaya 特任教員

研究分野 イタリア美術史、Global Art History

【最終学歴】 Washington University in St. Louis
 【担当授業科目】学術英語コミュニケーション/英文学術論文研究方法論
 【研究テーマ】ルネサンスとバロック美術史、グローバルな視点から見た美術史、巡礼地の美術作品



鈴木 香寿恵 博士(理学)
SUZUKI Kazuo 特任教員

研究分野 極域気象学、統計科学

【最終学歴】総合研究大学院大学
 【担当授業科目】人文・社会科学データ解析/データサイエンス演習
 【研究テーマ】南極域における大気中物質の輸送メカニズム、確率台風モデルに基づく気候モデル評価